

ストップ 窓口負担増

ひと月に40人ぐらいの在宅患者さんを診察していると、貧富の差を本当に強く感じます。外来では生活状況までは分かりませんが、ご自宅に訪問すると暮らしの負担が一目で分かります。大方がつましい生活をしてお

り、わずかな年金から食費や水道光熱費を支払い、残ったお金で治療費を何とか賄っているのだろうなと思います。

患者さんの中には、「お金がかかるから治療を中断したい」と打ち明ける人もいます。たいて



評議員会で75歳以上の窓口負担増の中止を訴える李氏(5月21日、M&Dホール)

「2倍化」に胸痛む

李容顕 (都島区)

政府は10月から75歳以上の窓口負担を原則1割から2割に引き上げると言います。訪問診療の窓口負担は1回あたり1500〜2000円ぐらいかかります。これがまるごと2倍になると患者さんの負担はとてつもない。「歯科治療を受けられない」という声が出てくるのではないのでしょうか。何としても2割化を止めなければならぬと思います。

75歳以上の窓口負担増阻止へ会員の思いを語ってもらいます。



安保法に反対し、自由に活用できるようにと長谷川さんが制作したイラスト

「とびだせ」指摘から絵本になることがすくなくあつてね。話を拾って、とびだせイメージを膨らませてくれる。だから生きて会って話をしなごう。

永田 いま世界中で戦争の恐怖が渦巻いています。先生の絵本には優しさや楽しさがあるけれど、みんなが「そうだね」と平和の大切さを共有する力があるように思います。『ぼくがラーメンたべるとき』では穏やかな日常の一方で、遠く離れた世界の過酷な現実を描いていますね。

長谷川 同じ地球の上で「いま、現実」にひどいことが起っている人もいるんですよ」ということを想像してほしいとの思いでつくりました。相手のことを思いやれるかどうかが大切なんです。いま、この本がよう売れんねんなあ。平和じゃない状態になると平和への思いを描いた本が売れる。

永田 そのような社会情勢に胸が痛みますね。マス・メディアは戦場の悲惨さを映すことで反戦を訴えませんが、日常生活の中に平和の大切さを描く先生の絵本の方が訴求力があると感じています。

長谷川 ウクライナの映像を見て恐怖感が根付いた時、どうやら逃れられるかと思うのが人間です。武器を持たないあかんとあかんに知らず知らずのうちに駆り立てられる。「恐怖」は一番扇動しやすく、怖いやり方だと思ふ。

永田 「力には力を」という論理になってしまいますからね。先生は2015年に安全保障関連法が国会

で議論されている時、「戦争やめて」のシールを配布し、常々、憲法9条の大切さを語っていますね。長谷川 先の戦争で恐ろしい目に遭い、命を奪われ、やっと手に入れた憲法です。ぼくらは「もう戦争はしません」という憲法をもらった上で生きてきただけで、平和を食いつぶしてきていると思ふんです。せめて手放すことなく、次の世代の子どもにバトンタッチをせんと。

会員 投稿

芸術家という人間は常人とは比較にならない「拘り人間」で、それを時に世間では「天才」と言う。芸に命を懸ける」と恰好付けて人の意表を突くことに汲々としていく内に才能が肥大化してきて、死ぬ頃には超変人で死後、時の経過とともに後世に名を残し人類の貴重な遺産にまで昇華する。

デザイナーも人の意表を突くのが商売で、左右の模様が全く別種類だったり、一見すると片肘がどこかで脱落したようなものも有名なモデルに着用させると一流最新の独創の部類に入る。

着用する自分の袴に模様を入れた。謙虚に入れたはずの模様が流行りだし、たのは、さほど派手ではなかったからだろう。

ここ数年、病氣とコロナで家に籠りきりの私は町の風景を興味津々とテレビで見ていると、意外と市松模様が健在なのに気付いて何故か嬉しくなってきた。婦人服売り場でマネキンが着用しているだけだなく、街で着歩く女性もいる。

病気で寝ている間に世の中様変わりで、またまた野獣時代の人類に逆戻りしたみたいだ。食糧難で苦しんでいるのは北朝鮮では核装備付きのミサイルを日本海へ打ち上げていた。この北朝鮮のミサイルにどういう美意識が格好付けてか弾頭を鮮やかな市松模様で飾っていた。

戦争を美化する、それも古くから人々に親しまれたかわい模様が美化するのは、一獣としての人類の一面かもしれないが、過去のなごりの尾てい骨みたいに退化させなければならぬ。

此事、拘泥——市松模様のミサイル

M (匿名希望)

デザインも人の意表を突くのが商売で、左右の模様が全く別種類だったり、一見すると片肘がどこかで脱落したようなものも有名なモデルに着用させると一流最新の独創の部類に入る。

着用する自分の袴に模様を入れた。謙虚に入れたはずの模様が流行りだし、たのは、さほど派手ではなかったからだろう。

ここ数年、病氣とコロナで家に籠りきりの私は町の風景を興味津々とテレビで見ていると、意外と市松模様が健在なのに気付いて何故か嬉しくなってきた。婦人服売り場でマネキンが着用しているだけだなく、街で着歩く女性もいる。

病気で寝ている間に世の中様変わりで、またまた野獣時代の人類に逆戻りしたみたいだ。食糧難で苦しんでいるのは北朝鮮では核装備付きのミサイルを日本海へ打ち上げていた。この北朝鮮のミサイルにどういう美意識が格好付けてか弾頭を鮮やかな市松模様で飾っていた。

戦争を美化する、それも古くから人々に親しまれたかわい模様が美化するのは、一獣としての人類の一面かもしれないが、過去のなごりの尾てい骨みたいに退化させなければならぬ。

とびだせ！長谷川義史展 兵庫・姫路で開催中



長谷川義史さんの原画や絵本の下絵などを紹介する展覧会が兵庫県姫路市の姫路文学館で、9月4日まで開かれています。「絵本作家へ」「家族」「絵本の描き方」などのコーナーで構成し、専門学校時代の絵、アイデア帖、息子の「出産絵日記」など約220点を展示しています。

姫路文学館
住所：〒670-0021
兵庫県姫路市山野井町84
開館：午前10時～午後5時(月曜休館)
料金：一般700円

大阪府歯科保険医協会が運営する

求人情報サイト

▶協会ホームページから簡単申し込み
掲載料は3カ月で1万円！

▶費用は掲載料のみ
スマホからの申し込みも可！

▶更新は毎月15日

掲載は会員限定

詳細は [大阪府歯科保険医協会](http://osk-hok.org/job/) 検索

※協会は情報提供のみで条件の交渉等は当事者間をお願い致します。